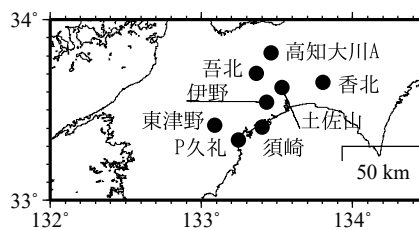
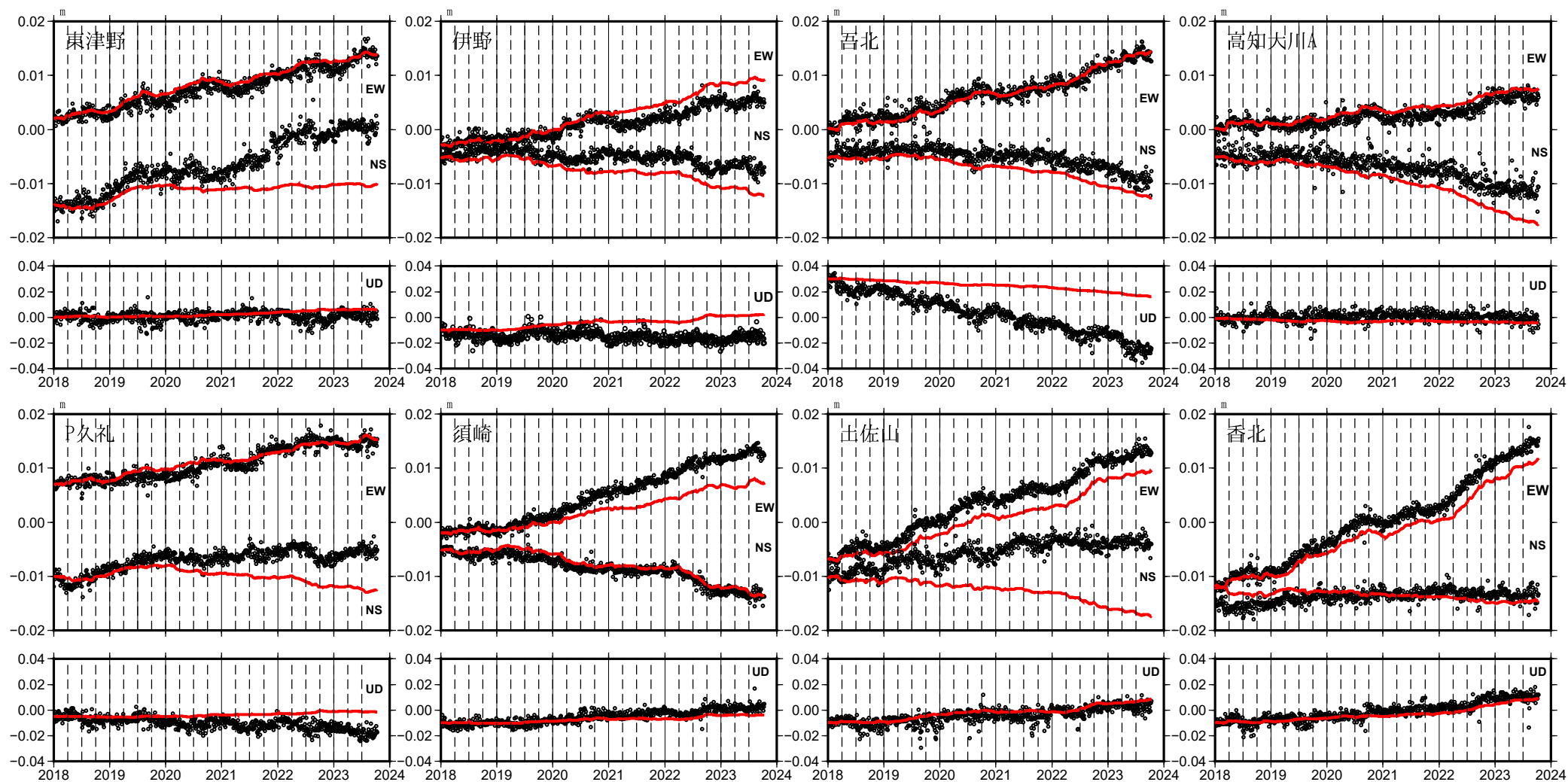


四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

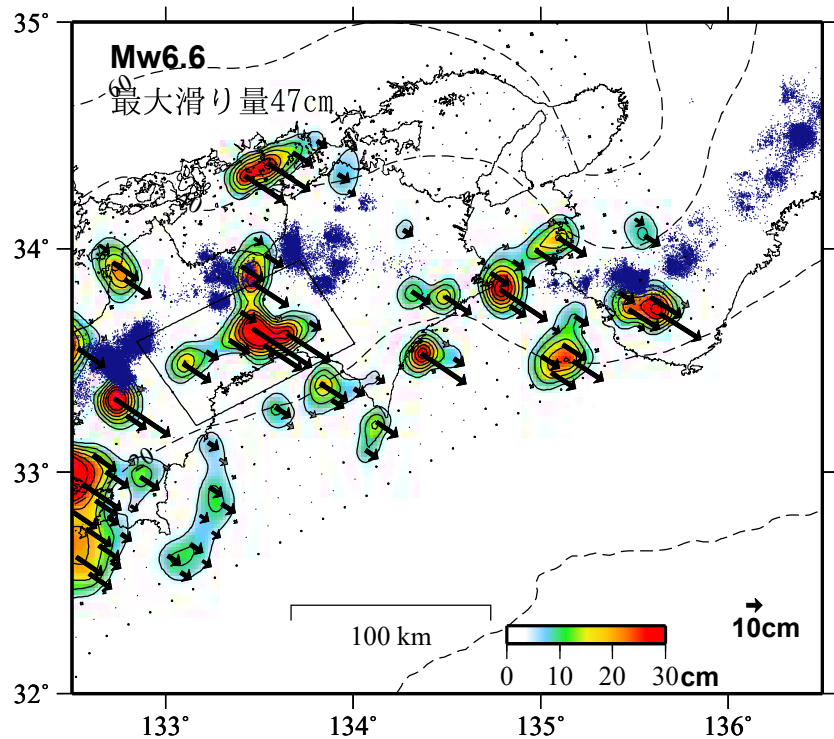
時間依存のインバージョン



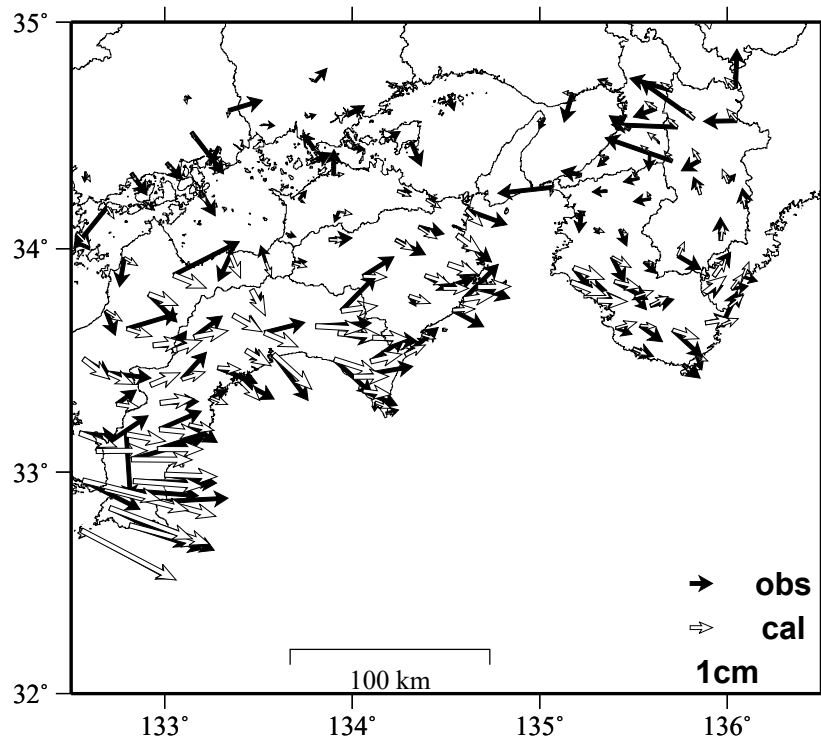
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

# GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり (暫定)

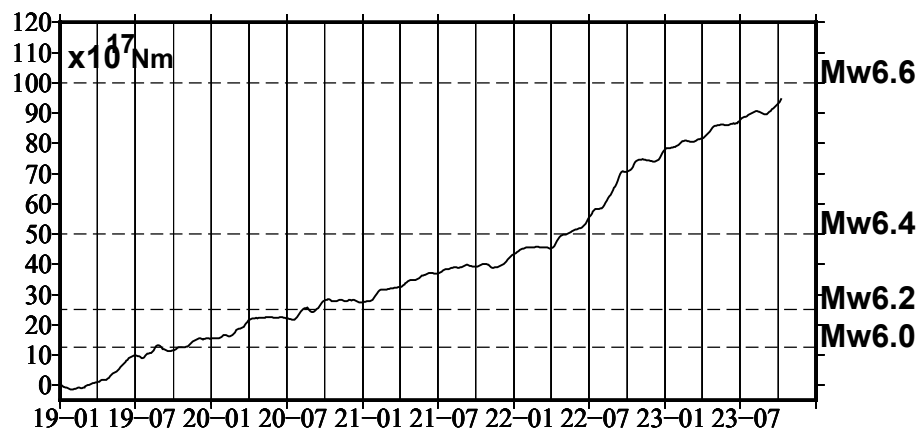
推定すべり分布  
(2019-01-01/2023-10-10)



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較  
(2019-01-01/2023-10-10)



モーメント\*時系列 (試算)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)  
F5解 (2019-01-01/2023-09-30) + R5解 (2023-10-01/2023-10-10)

トレンド期間: 2017-04-01/2018-04-01 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2019-01-01/2023-10-10)

固定局: 上対馬

\*電子基準点の保守等による変動は補正済み

\*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している (Suito, 2017, 水藤, 2017)。

\*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的SSEを補正している。

\*共通誤差成分を推定している。

\*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。